

ランチョンセミナーのご案内

ランチョンセミナーL1-5

■日時:2025年 7月2日(水) 11:45~12:45

■会場:第5会場 (会議棟B B2) 先着90名

三次元培養近位尿細管上皮細胞3D-RPTEC®を用いた 薬物誘発性腎障害評価系の開発

荒川 大 先生

名古屋市立大学大学院薬学研究科
レギュラトリーサイエンス分野 教授

腎臓を構成する部位のうち近位尿細管は薬物トランスポーターが豊富に発現するため薬物の集積性が高く、薬物誘発性腎障害(DIKI)が好発します。従来DIKIは実験動物を用いたin vivo実験により評価されているが、細胞培養工学技術の進歩とともに従来よりも生理学性の高い細胞モデルの開発が進み、創薬研究におけるin vitro安全性評価への応用が期待されています。

本セミナーではDIKIモデル構築あたり望ましい機能や評価手法について概説し、荒川先生が開発を進めている三次元培養ヒト近位尿細管上皮細胞3D-RPTEC®を用いたin vitro DIKI評価系の有用性や今後の課題についてご紹介いただきます。

チケット配布: 7月2日(当日) 9:00~ なくなり次第、配布終了

チケット配布カウンター (劇場棟 1F ホワイエ)

お問合せ